

株主の皆様へ

第104期

報告書

2023年4月1日～2024年3月31日



株主の皆様へ

当社グループでは、①“守りから攻め”への転換、②“高収益モデル”への転換、③“資本効率経営”への転換を柱とした5ヶ年の中期経営計画（2023年度～2027年度）を策定し、更なるレジリエント企業への進化、成長に向けて取り組んでおります。また、DXの推進により生産性向上や働き方改革に努めるほか、“攻め”を支える多様な人財の獲得・育成にも取り組んでおります。

高い競争力を有する国内土木事業においては、事業量の確保及び収益力の強化に向けて、官庁海洋工事における大型プロジェクトの確実な受注、また民間及び官庁陸上工事の受注拡大に努めております。成長ドライバーである洋上風力建設事業においては、将来に向けて人財を育成するとともにケーブル敷設分野を中心とする多様なポジションでの参入に向けて取り組んでおります。当連結会計年度の売上高及びセグメント利益は、前期からの繰越工事の増加により前連結会計年度比（以下、同期比較）で増収増益となりました。

国内建築事業においては、市場環境が急激に変化する中でも収益を拡大できるよう、組織営業力の強化及びストック市場への取り組み強化策であるReReC®（Renewal、Renovation、Conversion）や非請負分野の開拓に向けた体制整備のほか、DXの推進などによる生産性の向上や人財の育成に努めています。当連結会計年度は、一部工事で着工が遅れたため減収減益となりました。

海外建設事業においては、フィリピンなど当社進出国を中心に地域に根差した事業展開を継続し、ODA案件の獲得及びフィリピン現地法人CCT CONSTRUCTORS CORPORATIONによる民間工事の拡大のほか、現地人財の育成に取り組み、収益基盤の構築に努めております。当連結会計年度の売上高は、手持工事の順調な進捗により増収となり、セグメント利益は前期に発生した一過性の費用引当の繰入が当期はなくなったことから、大幅な増益となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、前期比10.9%増の1,867億81百万円となり、営業利益は、前期比21.0%増の108億87百万円、経常利益は、前期比17.6%増の100億57百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比24.0%増の70億16百万円となりました。

剰余金の配当につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の

最重要課題と位置付けており、“資本効率経営”への転換を基本戦略の一つに掲げ、積極的な株主還元を実施することとしております。2023年度を初年度とする中期経営計画では、2023年度から2025年度の配当性向を100%（下限50円/株）と掲げており、当期の業績を勘案し1株あたり74円とさせていただきます。また、当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回としておりましたが、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、2024年より中間配当制度を導入いたしました。

また、経営体制の強化の一環として、将来的な事業環境の変革に備え、業務執行体制を中長期的な視点で経営戦略を担うCEO職と事業部門の執行を担うCOO職の二層体制とすることといたしました。

当社グループは、中期経営計画の達成はもとより、その先に控える創立100周年に向けて一段の飛躍をしなければなりません。役員が一丸となって更なる社業の発展に努力してまいりますので、皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2024年6月

代表取締役 会長執行役員CEO

吉田真也

代表取締役 社長執行役員COO

中村龍由



吉田真也



中村龍由

“国内最大級” 自航式ケーブル敷設船の建造契約を締結

2050年カーボンニュートラルの実現に欠かせない再生可能エネルギーである洋上風力発電は、海に囲まれた日本において大きな期待が寄せられています。着床式はもとより浮体式の技術開発やEEZへの拡大検討などが進められており、順調に案件形成が進捗しています。

こうした中、当社は2023年12月8日の取締役会において国内最大級となる自航式ケーブル敷設船の建造を決定し、同年12月11日にノルウェーのVard Group ASと建造契約を締結いたしました。当社が建造するケーブル敷設船は、国内の自然条件及び施工条件に適合した最適な船体設計を行うことで水深の浅い海域から浮体式洋上発電や直流送電事業を対象とする大水深海域までの広い海域において高い稼働率での施工が可能です。また、本船は、自航式ケーブル敷設船として活躍するとともに、高性能クレーンと広いデッキによって着床式基礎工事、浮体式洋上風力係留工事等、多目的な分野に適合することができます。

【プレスリリース】

<https://www.toyo-const.co.jp/topics-18819>



ケーブル敷設船のイメージ

主な仕様	総トン数約19,000t、 推進出力約13,000kw、 DPS Class2、 船級Class NK
	宿泊90名 (全室個室、シャワー・トイレ完備)
船体 主要寸法	全長150m×幅28m×深さ12m 最大喫水7.0m
ケーブル タンク	容量9,000t (可搬式含む)
主/副 クレーン	250t/100t吊級 (動揺低減機能付)
その他 設備	ヘリデッキ、 4点係留装置 (浅海域施工時)、 2×ROVシステム、 バッテリー蓄電システム
投資金額	約300億円
資金調達	自己資金及び銀行借入 (グリーンローン)
完成時期	2026年上期

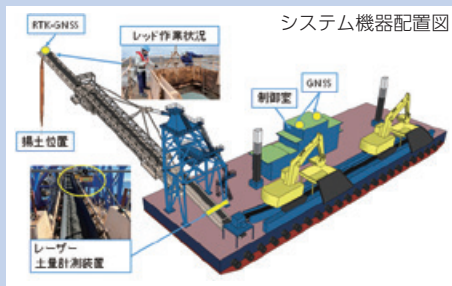
大型リクレーマ船による施工状況を4次元で見える化 「TORe-4D」を開発

「TORe-4D（トーレフォーディー）」は、埋立工事に使用するリクレーマ船*の船体及びスプレッダーに高精度のGNSS（全球測位衛星システム）を搭載して正確な位置管理を行い、ベルトコンベアに設置したレーザー計測装置とスピードモニターによって土量の管理を行います。また埋立に使用する土質の条件をシステムに反映することにより、揚土時の単位時間あたりの堆積形状を算出し、揚土状況を4次元（3次元+時間）で可視化できるシステムです。この開発により、施工の安全性が向上するとともに作業員が行っていた計測作業を自動化し、省力化を図ることができます。

このシステムを当社が保有する大型リクレーマ船「第二東揚号」に搭載し、生産性の向上と働き方改革に取り組んでいます。

【プレスリリース】

<https://www.toyo-const.co.jp/topics/technicalnews-19171>



リクレーマ船* 土運船により輸送されてきた土砂を揚土装置により揚荷し、コンベア等を介し埋立地等へ排出する作業船

セブン&アイグループ “初” 共通セントラルキッチンが稼働

2024年2月、当社として過去最大級となる大型食品工場「Peace Deli 千葉キッチン」（千葉県千葉市）が稼働いたしました。

当プロジェクトは、株式会社セブン&アイ・ホールディングス様のグループ食品戦略に基づく「グループ共通のインフラ」として立ち上げたプロジェクトであり、惣菜などを製造するセントラルキッチンと、精肉を加工するプロセスセンターを併設した最新の食品製造工場です。当工場の稼働により、出来立て・作り立てを守りつつ、店内加工の機能をセンター化し、店舗オペレーションの生産性向上と季節に合わせた惣菜の商品開発が可能となります。

当社は、お客様の様々なニーズにお応えすべくノウハウを蓄積し、数多くの食品工場を施工してまいりました。今回、このような大型工事をご下命いただけたのも、これまでの当社のきめ細かな対応によって得られた信頼の証と捉え、今後もお客様のご期待にお応えすべく、技術力の更なる研鑽に取り組んでまいります。



Peace Deli千葉キッチン（Peace Deli千葉誉田PJ新築工事）

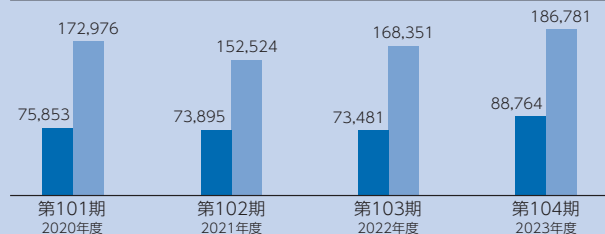
2024年3月期の連結業績概況

売上高

(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期

186,781百万円

(前期比 10.9%増)

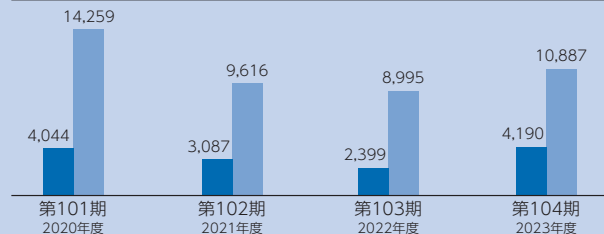


営業利益

(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期

10,887百万円

(前期比 21.0%増)

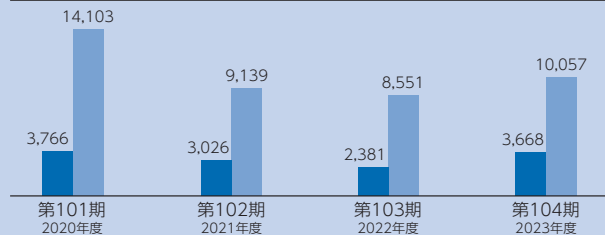


経常利益

(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期

10,057百万円

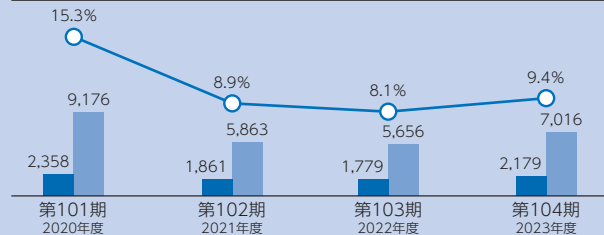
(前期比 17.6%増)



親会社株主に帰属する当期純利益 7,016百万円

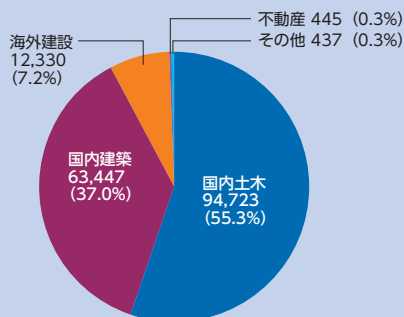
(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期 ○ROE

(前期比 24.0%増)



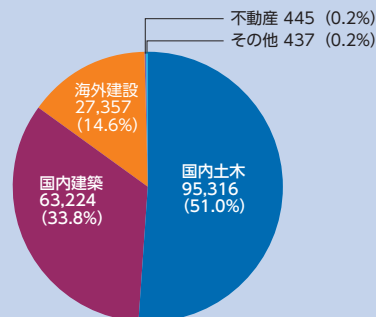
セグメント別連結受注高

(単位：百万円)



セグメント別連結売上高

(単位：百万円)



今後の経営施策

当期の主な受注・完成工事

●受注工事

	発注者	工事名	工事場所
土木	国土交通省	令和5年度名古屋港新土砂処分場埋立護岸築造工事（その2）	愛知県知多市
	国土交通省	令和5年度福岡空港滑走路増設地盤改良工事	福岡県福岡市
	東京都	新海面処分場（5）Dブロック東側護岸建設工事	東京都東江区
	千代田区	雫子橋補修補強工事（第5号）	東京都千代田区
	株式会社三和ドック	株式会社三和ドック7号ドック延伸工事	広島県広島市
建築	株式会社FRDジャパン	FRDジャパンPhase 2陸上養殖プラント（富津市）建設工事	千葉県千葉市
	添田町	添田町立小中学校建設事業校舎新築工事	福岡県福岡市
	熊本防衛支局	種子島（R5）管理事務所等新設建築工事	鹿児島県鹿児島市
	オリックス不動産株式会社	（仮称）三郷IIロジスティクスセンター新築工事	埼玉県埼玉市
	村田機械株式会社	（仮称）村田機械株式会社伊勢事業所新南生産棟新築工事	三重県伊勢市

●完成工事

	発注者	工事名	工事場所
土木	国土交通省	令和3年度鹿児島港（谷山二区）係留施設築造工事（第2次）	鹿児島県鹿児島市
	国土交通省	令和3年度設楽ダム設楽根羽線3号橋左岸下部工事	愛知県設楽郡
	国土交通省	令和4年度八代港大築島土砂処分場護岸築造工事	熊本県八代市
	防衛省	石垣島（2）駐屯地新設土木工事（その2）	沖縄県石垣市
	横浜市	新本牧ふ頭建設工事（その29・外周護岸B-2基礎及び本体工）	神奈川県横浜市
建築	株式会社Peace Deli	Peace Deli千葉誉田PJ新築工事	千葉県千葉市
	Tokyo Legacy Parks株式会社	（仮称）都立明治公園整備・管理運営事業所新築工事	東京都新宿区
	センコーグループホールディングス株式会社	（仮称）センコーグループホールディングス（株）金沢第2PDセンター新築工事	石川県石川市
	株式会社食研	（仮称）株式会社食研豊橋工場新築工事	愛知県豊橋市
	CapitaRetail NS特定目的会社	（仮称）彩都6-2街区物流センター新築計画	大阪府大塚市

建設産業におきましては、公共建設投資は防災・減災対策や加速化するインフラの老朽化への対応、国家防衛戦略などにより引き続き底堅く推移すると見込まれ、民間設備投資も伸び率は縮小するものの概ね堅調に推移する見込みです。

一方、技能労働者の高齢化等による担い手不足の問題のほか、「働き方改革関連法」に基づく時間外労働の上限規制などへの対応といった喫緊の課題を抱えており、持続可能な建設産業の確立に向けてDXの推進等による生産性向上や働き方改革への取り組みを加速する動きが高まっております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画のテーマである「守りから攻めへ 挑戦する企業」への取り組みを継続し、2029年に迎える創立100周年に向け、環境変化にフレキシブルに対応し、厳しい環境に自ら挑戦する“レジリエント企業”を目指しております。

レジリエント企業の実現に向け、当社グループでは資本効率経営並びにサステナビリティ経営を推進しており、持続的な成長を支えるガバナンスの強化、建設産業全体の喫緊の課題である「働き方改革」や「担い手確保」への対応に正面から取り組むほか、成長ドライバーである洋上風力建設事業に対して、人的資本、技術開発、成長投資資金等を積極的かつ効果的に投下することにより、洋上風力建設のリーディングカンパニーを目指すなど、カーボンニュートラルの実現にも取り組んでまいります。

主な完成工事（土木）



令和3年度 鹿児島港（谷山二区）係留施設築造工事（第2次）



令和4年度 八代港大築島土砂処分場護岸築造工事



石垣島（2）駐屯地新設土木工事（その2）



令和3年度 設楽ダム設楽根羽線3号橋左岸下部工事



新本牧ふ頭建設工事（その29・外周護岸B-2基礎及び本体工）

主な完成工事（建築）



Peace Deli千葉誉田PJ新築工事



(仮称) 株式会社社研豊橋工場新築工事



(仮称) センコーグループホールディングス(株)金沢第2PDセンター新築工事



(仮称) 彩都6-2街区物流センター新築計画



(仮称) 都立明治公園整備・管理運営事業所新築工事

第102回定時株主総会決議ご通知

2024年6月26日開催の当社第102回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
1. 第104期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告及び連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。
 2. 第104期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案** 剰余金の配当の件
本件は原案どおり承認可決され、当期末の剰余金の配当は、1株につき金74円と決定いたしました。
- 第2号議案** 定款一部変更の件
本件は原案どおり、承認可決されました。
- 第3号議案** 取締役11名選任の件
本件は原案どおり、吉田真也、大林東壽、中村龍由、平田浩美、郡司島尚、鳴澤隆、松木和道、内山正人、岡田雅晴、名取勝也、藤井佳子の11氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第4号議案** 監査役1名選任の件
本件は原案どおり、田邊勝規氏が選任され、就任いたしました。

本株主総会終了後の取締役会の決議により、次のとおり代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役 会長執行役員CEO	吉田真也
代表取締役 社長執行役員COO	中村龍由
代表取締役 副社長執行役員	平田浩美

また、本株主総会終了後の監査役会の決議により、田邊勝規氏は常勤監査役に選定され、就任いたしました。

以上

株式の概要 (2024年3月31日現在)

役員 (2024年6月26日現在)

株式の状況

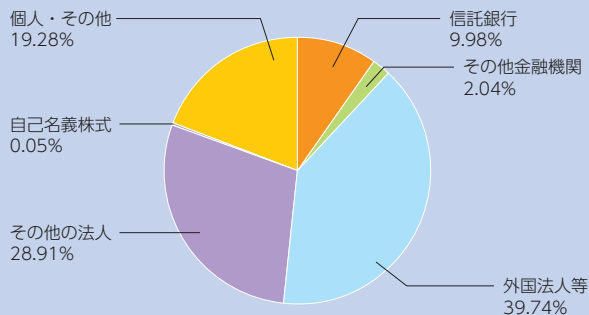
発行済株式の総数 94,371,183株
(自己株式44,568株を含む)
株主数 26,093名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
前田建設工業株式会社	19,047	20.19
WK 1 Limited	9,200	9.75
WK 2 Limited	9,190	9.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,817	7.22
WK 3 LIMITED	5,890	6.24
合同会社Yamauchi-No.10 Family Office	2,627	2.78
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,757	1.86
東洋建設共栄会	1,723	1.82
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	1,646	1.74
株式会社三菱UFJ銀行	1,300	1.37

(注) 持株比率は自己株式(44,568株)を控除して計算しています。

株主分布状況



取締役

代表取締役	会長執行役員CEO	吉大	田林	真東	也壽
取締役	副会長執行役員	中平	村田	東龍	由美
代表取締役	社長執行役員COO	郡司	村田	龍浩	尚隆
代表取締役	副社長執行役員	島澤	田林	和正	道人
取締役	専務執行役員	鳴松	村田	勝佳	晴也
取締役		内山	澤木	雅勝	
取締役		岡田	山木	雅晴	
取締役		岡田	田取	勝也	
取締役		名取	井藤	勝也	
取締役		藤井	佳子	勝也	

※鳴澤隆、松木和道、内山正人、岡田雅晴、名取勝也、藤井佳子は、社外取締役です。

監査役

常勤監査役	田保	邊田	勝志	規穂
監査役	野川	中口	智浩	子一
監査役				

※保田志穂、野中智子、川口浩一は社外監査役です。

執行役員

専務執行役員	川登	島坂	要成	一章
専務執行役員	本佐	杉藤	成	美護
常務執行役員	後藤	下藤	孝	章之
常務執行役員	時田	田所	孝	学博
常務執行役員	小倉	倉市	篤勝	利彦
執行役員	小古	藤相	正広	記一
執行役員	藤相	長鷹	秀	晃之
執行役員	小地	嶋嶋	俊友	彦夫
執行役員	小地	藤原	康英	樹介
執行役員	藤原	澤田	俊裕	樹勝
執行役員	小恩	相時	陽	介久
執行役員	泉		照	久

会社の概要 (2024年3月31日現在)

社名	東洋建設株式会社
英文名	TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.
創立	1929年7月3日
資本金	14,049,367,174円
営業種目	土木建築工事の請負、建設コンサルタント、土地造成、地域・都市・海洋・資源エネルギー開発及び環境整備、公共施設の企画、管理運営、エネルギー供給に関する事業、不動産業、その他関連事業
従業員数	1,656名(連結)
URL	https://www.toyo-const.co.jp/

株主メモ (2024年6月26日現在)

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	中間配当金 9月30日 期末配当金 3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (プライム市場)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL https://www.toyo-const.co.jp/

主要営業所 (2024年6月26日現在)

本社	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング 〒101-0051 ☎ (03) 6361-5450
本店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 興銀ビル 〒541-0043 ☎ (06) 6209-8711
北海道支店	(札幌市中央区)
名古屋支店	(名古屋市中区)
東北支店	(仙台市青葉区)
大阪本店	(大阪市中央区)
関東支店	(東京都千代田区)
中国支店	(広島市中区)
関東建築支店	(東京都千代田区)
四国支店	(香川県高松市)
横浜支店	(横浜市中区)
九州支店	(福岡市博多区)
北陸支店	(石川県金沢市)
国際支店	(東京都千代田区)
海外営業所	マニラ、ハノイ、ジャカルタ
技術研究所	鳴尾研究所 (兵庫県西宮市) 美浦研究所 (茨城県稲敷郡美浦村)

ホームページのご案内



<https://www.toyo-const.co.jp/>



工事ルポ

当社の工事への取り組みをより深く知っていただくため、施工中の工事を取材し、レポートを随時配信しております。迫力ある現場の臨場感を是非ご体験ください。

<https://www.toyo-const.co.jp/reportage>

